「季節の花 300」
http://www.hana300.comより
（写真・説明文引用）

千日紅
（せんにちこう）
花言葉…色あせぬ愛、不朽など

熱帯アメリカ地方原産。17世紀頃に渡来。夏から秋まで長い間、紅色が色あせないことからこの名前に。（乾燥させても千日以上（3年以上）色あせないことから…。昔は中国では女性が簪（かんざし）に使った。赤い色が見事な花。白、ピンクもある。別名「千日草（せんにちそう）」

花のお便り

2016.9　No.123
E-mail : info@miyazaki-p.co.jp
http : //www.miyazaki-p.co.jp/
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2
TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

毎週、新聞に週刊誌の広告が掲載されているが、その中のある週刊誌の広告に、私が服用している血圧降下剤が、飲んではいけない薬として掲載されていた。週刊誌の記事の信憑性には様々な見解があり、私自身もすべての週刊誌とはいわないが、あまり信頼はしていない。それにしてもなんとも後味が悪い、と言って週刊誌を購入して読んで見る気も起きないのも本音だ。

ポケットフォルダー作成のすすめ

お客様に提出する大切な書類・見積書・会社経歴書などは、どのような形態で相手に渡していますか。もし書類そのものだけをお客様に渡しているなら、一度立ち止って考えてみませんか。もちろんすべての書類をフォルダーに入れなくても、ここぞという時には、お客様に敬意をはらい、通常とは違った演出も大切です。お客様からは、これまでとは違う反応が出ることは間違いありません。
デザインも含め弊社にお任せください。効果が期待できる製品を作成いたします。詳細は弊社のホームページに、分かりやすく掲載されています。参考にしてください。

気まぐれエッセイ　愛ちゃんと吉田沙保里の涙

からぴょん▶

今回ほど短いと感じ、そして感動が連続したオリンピックは初めてだ。また選手の涙の奥深さはオリンピック特有のでもあった。勝者の涙は明るく晴れやかでキラキラ輝いているが、敗者のそれは、何年もかけ築き上げた努力が、重く溶け込んでいる。負けるべく負けた訳ではなく、4年に一度の大会で勝利者になるのは、その時の体調・精神状態や運も含め大きく作用する。卓球の愛ちゃんは、あとワンポイントでメダルに届かなかった。世界4位は凄いが、愛ちゃんには満足が行く結果ではなかった。団体戦の戦いでは、そのことを引きずっているようにも見えた。苦しみながらも3人で勝ち取った銅メダルは、嬉しさより自らの不甲斐なさを攻める涙が愛ちゃんらしかった。銀メダルの吉田沙保里は、よもやの敗戦を受け入れる事が出来ず、マットに顔をうずめ涙した。流した涙は他のどの選手より多く、その涙に濡れた銀メダルはどの金メダルより一層の輝きを放っていた。
メダルの色は誰のための色なのか、ふとそんな疑問が頭をよぎる。オリンピックの宿命なのか、国を代表する個人がオリンピックの精神だが、国を背負う選手の色合いが強い。
どんな色のメダルでも表彰台では勝者敗者なく、お互いを称え合うようになるには、国を背負うのではなく、選手個人の競争との精神が根づくことが望ましいように感じる。